

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道事業における企業債残高の計画的な削減に取り組み、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。平成28年4月1日に静岡県から浜松市へ移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりPFI法に基づくコンセッション方式を導入し、民間活力を最大限活用した効率的な事業運営を行う。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号・取組事項名 2006 下水道事業における企業債残高の削減

取組番号・取組事項名 5004 西遠流域下水道へのコンセッション方式の導入

個別計画等 計画名等 下水道事業中期財政計画(企業債残高の削減)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	建設事業費(億円)	計画値	55.0	72.0	72.0	72.0 (H36) 72.0
		実績値	51.0	63.8		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成28年度】

建設事業費を計画値72.0億円から63.8億円にコスト縮減を図り、その結果、企業債借入が抑制され残高の削減が図られた。